

第2回横浜市戸塚区地域ケアプラザ指定管理者選定委員会（2日目）議事録	
日 時	令和2年4月7日（火） 午後1時から4時50分まで
開 催 場 所	戸塚区役所8階大会議室
出 席 者	<p><b>【選定委員会委員】</b></p> <p>委員長 西尾 敦史 （愛知東邦大学 人間健康学部 人間健康学科 教授）</p> <p>委員 新井 敏行 （名瀬連合町内会会長）</p> <p>石井 徹 （汲沢地区民生委員児童委員協議会会長）</p> <p>落合 清子 （戸塚区保健活動推進委員会 副会長）</p> <p>中嶋 伴子 （とつか区民活動センター センター長）</p> <p>中瀬 明德 （東戸塚地域活動ホームひかり 施設長）</p> <p>福本 雅美 （戸塚区地域子育て支援拠点とっこの芽 施設長）</p> <p>鷺見 悦子 （東京地方税理士会 戸塚支部 会員）</p> <p><b>【事務局】</b></p> <p>戸塚区福祉保健課長 松本 真佐人</p> <p>戸塚区福祉保健課事業企画担当係長 渡辺 光</p> <p>戸塚区福祉保健課事業企画担当 榎田 悦子、谷口 洋一、田島 直美、 宮内 裕貴</p>
欠 席 者	なし
開 催 形 態	公開 一部非公開（傍聴者2人）
議 題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 委員会の成立について</li> <li>2 会議の公開について</li> <li>3 審査手順及び各種照会結果の報告等について</li> <li>4 面接審査</li> <li>5 意見交換／講評</li> <li>6 指定候補者の選定</li> </ol>
決 定 事 項	<p>指定管理者の候補者（以下「指定候補者」という。）及び指定候補者を指定管理者として指定できない場合に指定候補者に代わって指定候補者となる者（以下「次点候補者」という。）として、次のとおり、横浜市戸塚区長に報告することとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 横浜市平戸地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者 指定候補者：社会福祉法人 聖ヒルダ会 次点候補者：なし</li> <li>2 横浜市原宿地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者 指定候補者：社会福祉法人 聖母会 次点候補者：なし</li> <li>3 横浜市舞岡柏尾地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者</li> </ol>

	<p>指定候補者：社会福祉法人 横浜市福祉サービス協会 次点候補者：なし</p> <p>4 横浜市南戸塚地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者 指定候補者：社会福祉法人 朋光会 次点候補者：なし</p> <p>5 横浜市下倉田地域ケアプラザの指定候補者及び次点候補者 指定候補者：社会福祉法人 開く会 次点候補者：なし</p>
議 事	<p><b>1 委員会の成立について</b> 議事に先立ち、委員8名のうち8名の出席があることから、過半数を超えているため、本委員会は成立。なお、横浜市南戸塚地域ケアプラザについて、新井委員が応募団体（社会福祉法人朋光会）の評議員となっているため、同施設の審査及び選定から外れることを確認した。</p> <p><b>2 会議の公開について</b> 事務局から会議の公開について、第1回選定委員会の決定事項のとおり、面接審査のプレゼンテーションについては公開とし、採点及び指定候補者の選定時は非公開とすることを確認した。なお、横浜市原宿地域ケアプラザの面接審査のみ2名の傍聴の申込があることも併せて報告した。</p> <p><b>3 審査手順及び各種照会結果の報告等について</b> 事務局から、公募の結果、本会で審査する5施設（横浜市平戸地域ケアプラザ・横浜市原宿地域ケアプラザ・横浜市舞岡柏尾地域ケアプラザ・横浜市南戸塚地域ケアプラザ・横浜市下倉田地域ケアプラザ）については、各1団体から応募書類の提出があった旨を報告するとともに、次の2点について確認した。</p> <p>(1) 面接審査の進め方及び質問項目の確認 (事務局) ・面接審査から指定候補者の選定までの全体の流れについて説明。 ・応募団体の採点方法や評価基準項目等について説明。 ・1施設に対して1団体のみ応募となっているが、最低制限基準（「7 前期の指定期間の実績」を除く満点の60%となる点。以下同じ。）に満たない場合は、再選定を行う旨を再確認した。</p> <p>(2) 各種照会結果の報告及び応募団体が欠格事項に該当しないことの確認 (事務局) ・「暴力団又は暴力団経営支配人等ではないこと」に関して神奈川県警に照会した結果及び、横浜市財政局に市税納付状況等の確認を行った結果、すべて</p>

の応募団体について資格要件を満たしていること並びに、横浜市健康福祉局が第三者機関に対して行った財務評価委託の結果を報告。

#### 4 面接審査

##### (1) 横浜市平戸地域ケアプラザ

###### ア プレゼンテーション

団体から、団体の概要、事業計画等について説明

###### イ 主な質疑応答

(委員) コンビニ等での移動販売を地域と事業者の間に入り繋げた実績について、その経緯を教えてください。また、昨今介護業界における人材不足が話題になるが、何か対策(介護ロボットの導入等)として考えているものはあるか。

(団体) 経過としては、昨年8月に平戸、平戸平和台の連合町内会長、地区社会福祉協議会会長等にお集まりいただき、事業の説明をするところからはじまり、12月から開始されている。人材不足については、職員の多くが平戸地域ケアプラザ近隣に居住しており、現時点では幸い大きな問題になっていない。今後もこの高い定着率を維持していきたい。

(委員) 移動販売について、当初は高齢化が進みなかなか自身で買い物に行けない方に向けた取組だったと思うが、実際に開始されてみて、1回での利用者数や利用者の特徴等はあるか。

(団体) 具体的な人数については、手元に詳細の資料はないが複数箇所で開催している中では、県営住宅での利用者数が特に多いと聞いている。

##### (2) 横浜市原宿地域ケアプラザ

###### ア プレゼンテーション

団体から、団体の概要、担当地域の概要、事業計画等について説明

###### イ 主な質疑応答

(委員) 高齢者が多い地区の中で、大福まっぷ(地域の福祉関連情報の掲載された地図)の作成は特徴的な取組のひとつだと感じているが、どの程度の頻度でどのように更新しているのか。

また、担当地区が広いが、元気づくりステーションはどのように実施しているのか。

(団体) 約5年に1度の頻度で、地区社会福祉協議会や地区民生委員児童委員協議会、連合町内会等に協力をしてもらいながら更新している。

元気づくりステーションについては、連合町内会との調整よりも、地域の方が参加しやすいよう単位町内会ごとに打診をして実施できる拠点をお借りするかたちで実施している。

(委員) 情報提供について、QR コードや SNS の活用を検討しているとのことだが、定着してきているのか。また、高齢者等なかなかパソコンやスマートフォンを利用しない層への対応はどのように考えているのか。

(団体) QR コードや SNS 等で情報を得られない層については、町内会の回覧のほか、郵送での対応をしている。QR コード等の定着については、未知数なところがあるが、必要とする情報にすぐアクセスができるように心がけて運用している。

### (3) 横浜市舞岡柏尾地域ケアプラザ

#### ア プレゼンテーション

団体から、団体の概要、事業計画等について説明

#### イ 主な質疑応答

(委員) 個別相談状況として、平成 28 年から平成 30 年までで相談件数がかなり増えているようだが、その原因等分析しているものはあるか。また、応募書類の中に、利用者のニーズ・要望・苦情への対応として、お客様に公表するとの記載があるが、具体的にどのように公表していくことを想定しているのか。

(団体) 相談件数の増加については、町別に集計をしており、これまで相談件数が少なかった地域や、新たに担当圏域に加わった地域の会合等に出席させてもらえるようになったことが大きな要因だと考えている。

アンケートの結果等の公表については、貸館の利用団体や個人の方からのご意見は、館内への掲出や、場合によっては広報紙での紹介をしている。また、デイサービス等の利用者についても年に一度アンケートを実施しており、その結果については連絡帳等でご家族の方にも届くようにしている。

(委員) 担当地域内に舞岡病院があるかと思うが、何か連携しているものはあるか。また、要介護認定率が低い地域があるが、何か特徴的な取組を実施しているのか。

(団体) 舞岡病院とは、個別ケースの地域ケア会議に出席してもらい意見を頂戴したり、逆に地域に向けて発信していきたいという思いを講座のコーディネーター等で地域の方にお伝えする場づくりの協力をしたりという関係ができています。柏尾地区の要介護認定率は市域や区域の平均より 2%程低い。これについては、地域ケアプラザが関わっている元気づくりステーションのほか、以前から地区民生委員児童委員等が町内会館等で実施している体操教室が盛んに行われていたり、多世代で参加できる運動のイベントが多数行われていたりすることがひとつの要因だと考える。

(委員) 地域の行事への男性の参加には難しさを感じる部分があるが、ボランティアを募集するときなど、何か工夫していることはあるか。

(団体) まずは、仲間づくりをしてもらうことと、実生活でも役立つ内容を意識した講座を企画し、講座が終わったあともOBとして残っていただき、「男性地域デビューを考える会」を立ち上げていただいた。この会の意見を取り入れながら次の講座の企画を立てて、次の参加者を募るなど、男性に主体的に関わってもらえるようにしている。

(委員) 個別相談の分析を生かした事業展開等は何かあるか。

(団体) 相談内容の内訳として、介護保険制度に関する相談に次いでインフォーマルサービスに関する相談が増えてきている。こういった相談をプチボランティアといった地域のグループ等の活動につなぐことができてきたので、今後も法律や制度ではカバーできない課題を地域の力で解決していけるような仕組みづくりを進めていきたいと考えている。

#### (4) 横浜市南戸塚地域ケアプラザ

##### ア プレゼンテーション

団体から、団体の概要、事業計画等について説明

##### イ 主な質疑応答

(委員) 子育て世帯が増えてきたとのことだが、働く母親が多く、地域につながりづらい傾向にあるように感じているが、地域ケアプラザとして多世代交流等、子育て中の母親が地域との接点を持てるような施策はあるか。

(団体) 多世代交流は重要なテーマの一つと考えており、担当地区の中でも地区社会福祉協議会が主導で実施している多世代交流の取組に参画させてもらっている。また、デイサービスを可能な限り開放することで、子育て世帯が年長者からアドバイスをもらえるような機会も創出できればと考えている。

(委員) 応募書類の中に災害に対する取組として、危険箇所を把握していくとの記載があるが、把握した情報をどのように地域に発信していくことを想定しているのか。

(団体) 地域ケアプラザ内の掲示をしている。今後については、広報紙や電子媒体を活用した周知も検討をしていけたらと考えている。

(委員) 認知症サポーター養成講座を様々な企業や場所で実施しているとのことだが、実際に認知症と思われる方に関する相談はあるのか。

(団体) 地域の個人店舗から実際にお問い合わせをいただき、民生委員児童委員と調整をして対応しているケースもある。また、タクシー会社への働きかけもしており、まだ問い合わせをいただいた実績はないが、

定期的に、認知症と思われるお客様の有無を伺ったり、認知症に関する講座の案内をしたりといった声掛けをしている。

(委員) ふれあいポイント事業の参加企業に対しては、何かしらの費用弁償等はしているのか。また、ふれあいポイント事業の効果はどのようなものか。

(団体) ふれあいポイントに参加いただいている企業・商店については、社会貢献(ボランティア)でご協力いただいている。事業の効果としては、参加する意欲を維持し、高齢者の閉じこもりを防ぎつつ、地域の企業や商店を利用してもらえるとといったことを期待している。

(5) 横浜市下倉田地域ケアプラザ

ア プレゼンテーション

団体から、団体の概要、事業計画等について説明

イ 主な質疑応答

(委員) 担当地区内のハートプラン(地域福祉保健計画)の次期策定に向けてどのような関わり方をしている、進捗はどうか。

(団体) 支えあいの仕組みを作っていくうえで、担い手不足の課題について考えており、その検討の中で在学生が多く下倉田地区に住んでいる明治学院大学の職員や、豊田中学校のボランティアサークルにも加わってもらっている。

(委員) 応募関係書類の事業計画書について、各項目の冒頭にわかりやすい目標が付いている点特徴的だが、これは法人としての方向性なのか、下倉田地域ケアプラザを運営する中で職員内でも共有しやすくするための工夫なのか。

(団体) 長年当法人に勤めた経験から、読み手のことを考え相手に伝えたいことが伝わるような工夫として、また地域ケアプラザの職員にとっても分かりやすい標語になるだろうという思いから、このような記載の仕方をさせてもらった。

(委員) 貸館の日中の高い利用率について説明があったが、夜間について、利用率を上げる方策等で考えているものがあるか。

(団体) 現在夜間で利用されるケースとして、講師が日中仕事をしている関係で夜間に実施している趣味の講座があるので、こういった利用を増やすことや、担当地区の特徴として他に夜間に貸館をしている施設が自治会館以外ないので、今後は柔軟な地域の方々が集える場づくりとして、目的外での貸館等についても検討していこうと考えている。

5 意見交換/講評 及び

6 指定候補者の選定

面接審査及び選定委員のうち財務に関する有識者と事務局からの追加説明を受けて評価を行い、各委員の評価結果を集計、意見交換及び講評を行った。

(1) 横浜市平戸地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点
指定候補者	社会福祉法人 聖ヒルダ会	1,997／2,400点 うち最低基準対象得点 1,952／2,320点
次点候補者	なし	

(審査講評)

- ・担当地区の地域福祉保健計画の取組を基にニーズの発掘や人材の育成といった事業展開の中に、「支援される側が支援する側になる」よう、いかに今後地域ケアプラザを利用されている方々に次の担い手となっていただくかを意識した提案となっている点を評価する。
- ・担当地区内にある住民の集える拠点を、子育て世帯へのアプローチ等を含めた多世代交流の場となっていくようにフォローするなど、住民主導での活動の進展に寄与するための良好な関係づくりを期待する。

(2) 横浜市原宿地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点
指定候補者	社会福祉法人 聖母会	2,011／2,400点 うち最低基準対象得点 1,991／2,320点
次点候補者	なし	

(審査講評)

- ・大福まっぷといった地域の自主的な取組を地域ケアプラザがしっかりとバックアップできている点を評価する。
- ・以前から学校や地区センターとのつながりを持ち、担当地区内ではハブとなる施設になっている。最近では高齢者施設との連携も進めてきており、カフェマップ等も含め新しい取組にも挑戦している点が評価できる。
- ・他の地域ケアプラザでも参考となるような取組をしているので、今後は地域ケアプラザ間での取組の共有といった連携にも期待したい。

(3) 横浜市舞岡柏尾地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点
指定候補者	社会福祉法人 横浜市福祉サービス協会	2,088／2,400点 うち最低基準対象得点 2,073／2,320点

次点候補者	なし
-------	----

(審査講評)

- ・地域の問題や課題だけではなく、地域の良さや魅力に着目をして地域と連携した取組を行っている点や、特殊詐欺の被害が多いといった担当地区の様々なデータを収集し、地域ケアプラザの事業に生かしている点を評価する。
- ・専門性を生かした取組として、オリジナルの介護予防体操 DVD の作成や、生活支援コーディネーターの事例集を作成するなど、市内で複数の地域ケアプラザを運営する法人としてのスケールメリットを生かしている点を評価する。
- ・年間 100 回以上の研修を法人内で実施しており、職員の育成に注力している点も評価できる。

(4) 横浜市南戸塚地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点
指定候補者	社会福祉法人 朋光会	1,565／2,100 点 うち最低基準対象得点 1,575／2,030 点
次点候補者	なし	

(審査講評)

- ・地区の民生委員児童委員をはじめ、相談しやすいような関係・環境づくりが構築できている点とそれに向けた取組について評価する。また、担当エリア内の商店等を巻き込んだ独自のふれあいポイント事業など、独自性のある取組についても期待できる。
- ・地域に出向いて介護予防対策や認知症予防講座など数多くの事業を実施しているので、今後それらが地域の中に根付いて、地域の中の地域ケアプラザの位置づけが大きくなっていくことを期待する。
- ・自主企画事業のうち高齢者支援として自主化するボランティア団体の数が多く地域の活動団体との良好な関係づくりや自主化に向けた適切なフォローが評価できる。

(5) 横浜市下倉田地域ケアプラザ

	応募団体	評価得点／満点
指定候補者	社会福祉法人 開く会	2,032／2,400 点 うち最低基準対象得点 1,977／2,320 点
次点候補者	なし	

(審査講評)

- ・個別に出会った方との関係づくりや環境調整をしていく中で共生社会を実現していくといった法人の理念を地域ケアプラザの事業・運営に生かし、地域の



	<p>アクションを作り出していくハブになっていこうとする姿勢と実績を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設利用については、日中の住民の利用は多いので、今後は夜間の施設利用についてもどのような働きかけをしていくのか期待する。</li> <li>・近隣の大学に通う学生が多く居住する地区という特性を捉え、そういった学生等を巻き込んだ地域の取組を検討しているとのことで、地域ケアプラザとしてどのような関わり方をしていくのか期待する。</li> </ul> <p>各施設への応募団体の得点は、いずれも最低制限基準の60%以上であるため、選定委員会として指定候補者として選定することを決定する。</p>
<p>資 料 ・ 特 記 事 項</p>	<p><b>1 資料</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 面接審査について</li> <li>(2) 各種照会結果について</li> <li>(3) 各施設への応募関係書類（一式）</li> <li>(4) 財務分析結果報告書</li> <li>(5) 前期の指定管理業務の実績報告書</li> <li>(6) 採点表</li> </ol> <p><b>2 特記事項</b></p> <p>特になし</p>